



萌木

12月



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和5年12月15日発行

～自尊・立志・感動～

自省することで得る力

校長 山田 勝

12月は、調布市が市独自の取り組みとして定めている「いのちと心の教育月間」です。日ごろから大切にしている自他の生命を尊重する心や、より深い生命に対する畏敬の念を育てる機会とすることを目的にして、生命尊重を題材とした道徳授業の公開や講演会などの取り組みを行いました。12月という1年の締めくくりのこの時期に、お互いの生命を慈しむ機会を経て、年越しなどの年中行事に臨む意味のある取り組みです。

7月に続き2回目の三者面談も行い、生徒一人一人が自らのさらなる成長に向け課題を明確にしたうえで各自の目標をとらえる機会にできたと思います。面談前の全校朝礼では三者面談をよりよい機会にしてほしいと思い次のような話をしました。

【前略】今週金曜日から、三者面談が始まります。みなさんは、三者面談の15分間、どのような気持ちでいますか。自分のことを、保護者の方と担任の先生で、ああたこうだと批評して迷惑な時間、と捉えていませんか。

ただ、見方を変えれば、あなたの中学校生活をより豊かにする、あなた自身がより良い成長をするためのアイデアがそこには詰まっていると思います。自分のために、その時間をより有意義なものにするために、三者面談を保護者の方と担任の先生の二者面談にせず、意識を持って参加してください。3年生は進路のことが話題の中心になると思います。自分の気持ちをしっかり話して、面談を進めてください。

良薬は口に苦し、といいます。言い訳したくなる内容もあるでしょう。しかし、あなたへのアドバイスをしっかり受け取り、客観的に評価して考えることで、自分自身がより良い成長するための手立てを考えてください。三者面談を、自分をあなた自身もしっかり見つめて考え、より良い成長をする機会としてください。【後略】

年末年始を迎え、新たな目標をとらえ気持ちを一新する機会も多いこの時期。しっかりと自己を振り返ることを丁寧に行うことで自分の成長のための一歩を踏み出せる力を得てほしいと思います。